

事業概要	再生資源卸売業
部署	営業部
所在地	〒061-3244 北海道石狩市新港南1丁目19番60号
連絡先	(電話番号)0133-77-5653 (E-mail)fukutoku0227@gmail.com
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	経済活動を行いながら環境問題にも企業として向き合いCO ₂ 削減にどのように寄与していくのか。 弊社は、事業活動を通しSDGsの考えに寄り添い貢献することができる。 再生資源の質を向上させるため更なる細やかな選別作業、最終廃棄物を削減するための努力がCO ₂ 削減に寄与する。このような活動は、SDGsの目標13、14に沿った考え方である。
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野 エネルギー
	① 再生資源の適切な処理と管理、適切な分別、加工による再生資源化の促進。 CO ₂ 排出量の削減に向けた取り組み。 ② 人権尊重を基本とする不当な差別の排除、障害者雇用の促進、女性や外国人の採用拡大。
URL	http://www.fukutoku.online
上記ソリューションを提供できる地域について	北海道

自者の特徴	<p>今後の積極的取り組みは、リサイクルコーディネーター再生資源卸売業として同業者やお客様、地域住民とパートナーシップを組み再生資源、環境社会、資源物についてより深く理解行動していくための啓発活動を行う。リサイクル業界からの価値創出を行う企業を目指します。</p> <p>再生資源リサイクル業界は、一般人にとっては分かりにくいもの。 どのようにスクラップが資源物となって行くのか？ どういった物からどのような成分の金属が出来ているのか？ またはそれは再利用される時にどういった製品に生まれ変わるのか？ こういった素朴な疑問にお答えしながら より再生資源についての理解を深めていただけるような行動を行っていききたい。</p> <p>具体的には、小さなお子さんでも分かるような循環社会をイメージしたパネルやチラシを作製し会社訪問の受け入れや啓発活動に努める。 ・また、障がいのある人の雇用をハローワークにて登録する。 ・養護施設を卒業する子供の雇用を積極的に行う。</p> <p>ゼロエミッションへの取り組み 化石燃料を使う限り二酸化炭素排出するため、ゼロエミッションは実現されない。 別紙にあるような活動を日々行っており、またその活動の精査や改善を常に意識した選別を行っている。</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—

**ローカルSDGsの実現
に貢献できるソリュー
ション**

弊社は、鉄非金属の再生資源卸売行である。

例えば、取り扱い年間約 6000トンの鉄スクラップは、CO₂排出量が圧倒的に多い鉄鋼業界における(日本鉄鋼連盟 2008年11月パリ協定、中期目標2030年を見据えた最終的なCO₂排出量ゼロカーボン・スチールを目指した長期温暖化対策ビジョン、ゼロカーボン・スチールへの挑戦を策定)製鉄方法は、鉄スクラップを原料とする「電炉」での製鉄は、従来の「高炉」に比べてCO₂排出量を約四分の一に抑えることが可能。

鉄鋼業界でも「高炉」から「電炉」へのシフトがどんどん進んでいる。

高炉(溶鉱炉)とは製鉄所のメイン設備で、原料の鉄鉱石を溶かして銑鉄(せんてつ)を取り出すための炉でその際にコークス(石炭を蒸し焼きにしたもの)を燃焼させて熱源などとして活用するが、このとき大量のCO₂が発生する。

一方、電炉は、鉄鉱石ではなく鉄スクラップを原料とし、電気によって溶解・精錬することで鉄鋼を製造する。電炉はコークスを燃焼させないため、直接的にはCO₂を排出しない。コークスの代替りのエネルギー源として大量の電力を消費するが、それでも同じ生産量なら高炉と比較してCO₂排出量を1/4程度抑えられる。

消費電力を再生可能エネルギーで賄えれば、さらに環境負荷を減らすことができる。こうした環境意識の高まりを背景に鉄スクラップの需要が世界的に高まっている。中国は2021年より「再生鉄鋼原料」という国家規格に適合した鉄スクラップの輸入を解禁した。

このようなことから弊社が行う

再生資源の質を向上させるため更なる細やかな選別作業、最終廃棄物を削減するための努力がCO₂削減に寄与する。